

めぶき東アジアレポート

MEBUKI EAST ASIA REPORT

Shanghai / Hong Kong / Taiwan

2020年9月号

◇ 【 上海通信 】	デジタル人民元	1
◇ 【 香港通信 】	香港の日本酒市場	3
◇ 【 ニューストピックス 】	2020年7~8月の動き	4
◇ 【 東アジア駐在員コラム 】	香港で購入できる日本産食品	6
◇ 【 株式市場・為替情報 】		7
◇ 【 めぶきFGアジアネットワークのご紹介 】		8
◇ 【 めぶきFGイベント情報 】		10

常陽銀行上海駐在員事務所

上海市長寧区延安西路 2201 号
上海国際貿易中心 1901 室
TEL : +86-21-6209-0258
E-mail : joyosh@uninet.org

足利銀行香港駐在員事務所

Suite 1601, 16/F, Tower 2 The Gateway
Harbour City, Tsim Sha Tsui, Kowloon, HK
TEL : +852-2251-9475
E-mail : hongkongrep@ashikagabk.com.hk

本レポートの内容につきましては、当行の信頼し得る先からの情報に基づいて作成しておりますが、その正確性、信頼性を保証するものではありません。具体的に法律上、会計上、税務上の助言を必要とされる場合は、それぞれの専門家にご相談くださいますようお願いいたします。



常陽銀行



足利銀行

MEBUKI
めぶきフィナンシャルグループ

上海通信

—デジタル人民元—

中国は2022年2月に開催予定の北京冬季五輪までに、主要国では世界初となるデジタル通貨の発行を目指した準備を進めています。今月は、中国人民銀行（中央銀行）などが開発を進めているデジタル人民元について解説いたします。

1. デジタル人民元とは

(1) 中央銀行デジタル通貨（CBDC）

中央銀行デジタル通貨（以下、CBDC¹）とは、中央銀行が自らの債務（中央銀行マネー）として発行する、デジタル形態の支払決済手段のことを指し、中国人民銀行などが開発を進めるデジタル人民元もその一形態になります。CBDCは、スマートフォンなどのモバイル決済機能を活用することで銀行口座を経由せず支払ができるほか、高速かつ低コストで外国送金が可能になるなどのメリットがあります。

中国でデジタル人民元発行の機運が高まった背景として、普及の基盤となるキャッシュレス社会が既に浸透していることが挙げられます。またビットコインなどの暗号資産（仮想通貨）²を支えるブロックチェーンや分散型台帳技術をはじめとする新しい情報技術の登場により、取引データの偽変造や二重請求といった不正リスクが排除されてきたことも導入を後押ししています。

(2) デジタル通貨と暗号資産の違い

デジタル通貨と暗号資産は、相互に異なる性質を有します。デジタル通貨が電子的手段で利用される以外は、従来の通貨と同一と見做せることに対し、暗号資産は裏付資産を持たず、発行量が固定されるため、常に現在価値が変動する点で、通常の決済手段としては使い勝手が悪いとされています。

なお『スイカ』などの電子マネーは、発行体が民間事業者であること、特定の企業やサービスでの利用にとどまるなどによりCBDCとは区別されます。



<デジタル人民元を主導する中国人民銀行（北京市）>

¹ 「Central Bank Digital Currency」の略。

² 2019年5月に可決・成立した改正資金決済法により「仮想通貨」から「暗号資産」へと呼称が変更された。

2. デジタル人民元発行の狙い

(1) 資本流出および金融犯罪の防止

中国当局は、これまでも各種規制を強化することで資本流出を防止してきました。しかし、国境を跨ぐ資本移動の9割程度は把握できているものの、現金で海外に持ち出される残り1割については実体不明とされています。これらの大半は脱税や贈収賄など犯罪収益が含まれているとみられ、デジタル化により資金トレースを容易にすることでマネーロンダリングなどの金融犯罪を未然に防ぐ効果が見込まれています。

(2) 人民元の国際化

デジタル人民元は、人民元口座を保有しない海外企業や個人も利用できるよう設計されています。中国の広域経済圏構想「一帯一路」に合わせ、域内の人民元利用促進を図り、人民元国際化の進展につなげることも発行を推進する理由の一つとされています。

(3) 米国への対抗

米中貿易摩擦に端を発した米国との覇権争いが続くなか、対外決済を米ドルに依存する現状のままでは米国による金融制裁の影響が甚大なため、中国は独自のグローバル決済手段の構築を急ぐ必要があります。厳しい資本規制が敷かれる人民元の国際化には課題が多いものの、世界に先駆けデジタル化を進めることで人民元を国際基軸通貨へ育てたいとの思惑もみられます。

3. まとめ

中国は2014年夏にCBDCの検討チームを世界に先駆けて立ち上げました。その後、2020年に入り、深圳市など5都市でデジタル人民元の本格的な実証実験を開始しています。年内には実験結果をとりまとめ、発行に向けた最終準備を進める模様です。主要国が軒並み開発初期段階にあるなか、中国は導入に最も近い国といえることができます。

中国におけるデジタル人民元の導入は通貨政策や経済問題にとどまらず、米中の覇権争いも絡むことから、政治的な要素も大きいとされています。「香港国家安全維持法」の制定で欧米諸国との溝がいつそう深まるなか、世界的決済機関であるSWIFTから中国が締め出されるなどの金融制裁も現実味を帯びています。米ドルに依存した対外決済手段からの離脱が中国の大きな狙いと言われており、想定以上のスピードで発行が実現することも考えられます。

(常陽銀行上海駐在員事務所 首席駐在員 菊池 賢司)

香港通信

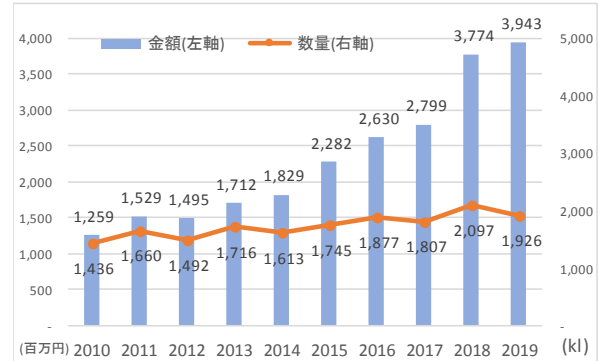
—香港の日本酒市場—

1. 香港の日本酒市場の状況

日本から香港への日本酒の輸出金額は増加傾向にあり、2019年は金額ベースで前年比4.5%増の39.4億円でした。一方で、数量ベースでは前年比8.2%減少の1,926klであり、単価の高い日本酒が売れていることが窺えます。

香港では、日本の居酒屋を再現した飲食店が人気を博すなど、日本料理や日本酒が流行しています。日本食レストランの店舗数も1,000店以上あり、中でも高級日本食レストランは様々な銘柄の日本酒を取り扱っており、1本数万円する日本酒もよく目にします。富裕層の多い香港では、値段を厭わず、高価な日本酒が多く消費されているようです。また、香港で入手できる日本酒の銘柄は200以上と、日本でも希少な銘柄を入手することも可能で、栃木・茨城県産の日本酒を目にすることも珍しくありません。

【図表1】香港向け日本酒の輸出の推移(金額・数量)



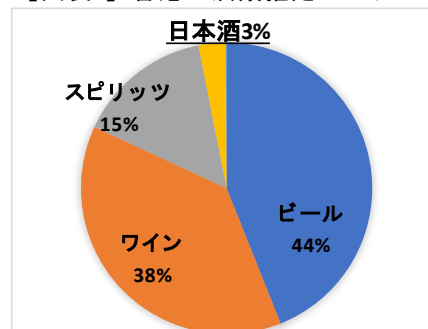
出所：JETRO発表及び財務省貿易統計より香港駐在員事務所にて作成

2. 日本酒市場の拡大に向けて

日本酒の浸透が進む香港ですが、酒類別のシェアにおいては、日本酒はわずか3%です。料理・場面を問わず飲まれているビールや、中華料理と一緒に飲まれることの多いワインなどと比べると、日本酒は和食を食べる場面に限定されているようです。市場拡大のためには、和食以外の料理と合わせた利用を促進することが必要で、飲食店数の多い中華料理店において、海鮮料理と日本酒のペアリングを体験するプロモーション活動なども行われています。

一方、今般のコロナ禍において、日本酒の消費形態も大きく変わっているようです。感染予防のため飲食店の営業が制限されたため、以前は7割あった飲食店での消費が1~2割程度に減少し、小売販売が増加しています。飲食店なども、和食と日本酒の宅配やプライベートシェフや利酒師の派遣など、消費者の新たな生活様式の変化の対応に迫られています。

【図表2】香港の酒類推定シェア



出所：JETRO発表より香港駐在員事務所にて作成
※消費者購入価格ベースのシェア

(足利銀行香港駐在員事務所 駐在員 鈴木庸之)

ニューストピックス

○経済

- ・ 香港、6月の総合CPIは0.7%上昇、伸び鈍化（7/22）
- ・ 6月の香港輸出、1.3%減＝1～6月は6.9%減—統計局（7/28）
- ・ 20年の成長率1.83%に上方修正＝民間シンクタンク予測—台湾（7/28）
- ・ 金、史上最高値を更新＝不透明感で買い殺到（7/28）
- ・ 中国、上半期の家電市場規模、コロナで14%縮小（7/30）
- ・ 4～6月期の香港GDP、9.0%減＝政府（7/30）
- ・ 香港、6月の小売売上高、25%減＝下げ幅8P縮小—統計局（7/31）
- ・ 世界の貿易額、5.8%減＝新型コロナで経済停滞—1～3月・ジェトロ（7/31）
- ・ 20年の香港成長率予想、引き下げ相次ぐ＝マイナス8.5%（8/3）
- ・ 4～6月期の台湾GDP、0.73%減＝新型コロナで17期ぶりマイナス（8/3）
- ・ 7月の中国輸出7.2%増＝対米黒字、過去最高に迫る（8/10）
- ・ 7月の中国鉄鉱石輸入、前年比24%増＝過去最高の1億1,265万トン（8/10）
- ・ 7月の中国銅輸入、16.1%増＝2カ月連続で過去最高—税関統計（8/10）
- ・ 7月の中国の大豆輸入、前年比18%増＝税関統計（8/10）
- ・ 7月の中国消費者物価、2.7%上昇＝政府抑制目標下回る（8/11）
- ・ 中国7月の対中投資、15.8%増＝1～7月もプラスに—商務省（8/14）
- ・ 7月の中国鉱工業生産、4.8%増＝小売売上高は7カ月連続減（8/14）
- ・ 米企業39%、香港から撤退検討＝米商工会（8/17）
- ・ 20年香港成長率、マイナス6～8%に下方修正＝政府予想（8/18）
- ・ 香港、7月のコンテナ取扱量、2カ月連続プラス（8/19）

○金融

- ・ 中国人民銀、金融緩和は一時休止＝過度の景気刺激を警戒—関係筋（7/24）
- ・ 台湾株が過去最高値＝加権指数、30年ぶり更新（7/28）
- ・ 中国、不動産企業の起債膨張、3週間で800億元＝借入金返済に充当（7/28）
- ・ 会計監査拒否なら22年に上場廃止＝中国企業締め出し規制案—米金融当局（8/7）
- ・ 7月末の中国外貨準備高、3兆1,544億ドル＝2年半ぶり高水準（8/10）
- ・ 米上場の中国勢に撤退圧力＝SNSも排除—トランプ政権（8/10）
- ・ 包商銀行、大幅債務超過で破産申請へ＝金融当局が容認—内モンゴル（8/12）
- ・ デジタル人民元に警戒感＝サイバー攻撃で金融不安—米FRB理事（8/14）
- ・ アリババなど3銘柄、ハンセン指数入り（8/17）
- ・ 6月の米国債保有、日本は1兆2,613億ドル＝中国は93億ドル減—米財務省（8/18）
- ・ デジタル人民元、大湾区などで運用テスト実施＝商務省（8/18）

○労務

- ・ 中国4～6月求人、前期比49%増＝JAC（7/27）
- ・ 香港、5～7月の香港失業率、6.1%＝0.1ポイント改善—統計局（8/20）

○社会

- ・ 中国、秋穀物収穫に不安＝南は水害、北は干ばつ (7/27)
- ・ 成都の総領事館閉鎖＝深まる米中対立 (7/27)
- ・ 世界監視カメラ保有都市番付、中国がほぼ独占＝英調査会社 (7/29)
- ・ 中国、洪水被害拡大、経済損失 2 兆円超＝死者・行方不明 158 人 (7/30)
- ・ 中国共産党、10 月に 5 中総会＝次期 5 カ年計画や長期目標討議 (7/31)
- ・ 香港、立法会選を 1 年延期＝「緊急条例」適用－民主派批判の中 (8/3)
- ・ バッタの大群、昆明に迫る＝雲南省 (8/4)
- ・ 中国の PCR 検査能力、1 日 484 万件＝5 カ月で 4 倍に増強 (8/6)
- ・ 台湾、日本人の隔離、再び 2 週間に＝新型コロナ感染拡大で (8/6)
- ・ 香港、希望者全員にコロナ検査＝中国政府が支援 (8/10)
- ・ 現職香港立法会議員の任期 1 年以上延長、全人代 (8/12)
- ・ 米、香港原産品を「中国製」に分類＝9 月下旬から貿易で同一条件に (8/12)
- ・ 飲食の浪費やめよ＝習主席が重要指示 (8/13)
- ・ 中国からのマカオ旅行、全面再開へ＝9 月 23 日から (8/13)
- ・ 中国政府の夏小麦買い付け量、18%減＝秋穀物は水害で不作へ (8/14)
- ・ 台湾、上場企業、前期比 5 割増益＝4～6 月期、PC や半導体好調 (8/18)
- ・ 集合制限令など感染防止策、25 日まで再延長＝香港政府 (8/18)

○商業

- ・ 国有総合商社の天津物産、経営破綻か＝負債総額 3.7 兆円 (7/24)
- ・ フランスもファーウェイ排除検討＝5G 製品、28 年までに－報道 (7/24)
- ・ 欧州委、ファーウェイ排除の公算＝5G 機器調達が多様化呼び掛け (7/27)
- ・ シェア自転車 OFO、経営者失踪＝相談電話不通、前払い金返済不能か－北京市 (8/3)
- ・ 内需主導経済、「住宅価格の押し下げ必要」＝中国紙社説 (8/13)
- ・ 香港、飲食店 5,000 店、数カ月以内に閉店危機 (8/14)
- ・ 中国、豪州産ワインに反ダンピング調査＝圧力強化狙う (8/18)

○製造

- ・ 中国、下半期のスマホ出荷、1 割減の見込み (7/30)
- ・ 7 月の中国製造業 PMI、0.2 ポイント上昇＝2 カ月連続改善－経済正常化進む (7/31)
- ・ 東風ホンダの 1～7 月販売台数、前年比 14.3%減 (8/10)
- ・ 7 月の中国新車販売、4 カ月連続増＝商用車がけん引 (8/11)
- ・ 中国各社、太陽電池への投資拡大＝現時点で 1,000 億元 (8/17)
- ・ 華晨汽車、経営危機に直面か＝BMW やルノーと合弁－中国紙 (8/17)

○運輸

- ・ 春秋航空、常州－大阪線を再開＝7 日から週 1 便－江蘇省 (8/4)
- ・ 7 月の香港コンテナ取扱量、3.3%増＝プラスは 2 カ月連続 (8/18)
- ・ 7 月の香港訪問旅客数 99.6%減＝1 日平均 660 人－観光発展局 (8/18)

< 出所：時事速報・NNA >

東アジア駐在員コラム

—香港で購入できる日本産食品—

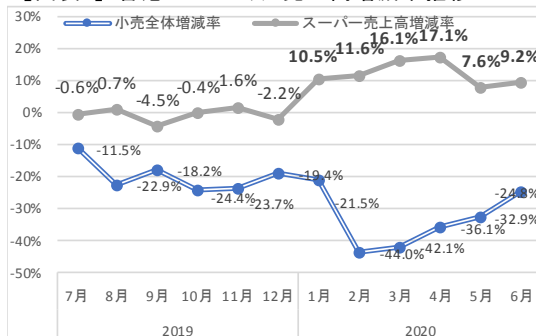
1. 日本産食品を購入できるスーパー

新型コロナウイルスの感染が発生した1月以降、香港では観光客の減少等により物販等を中心に小売売上高は落ち込んでいますが、外食が制限され自宅で食事をする必要性が高まったため、スーパーマーケットの売上高は増加しています。

下表の通り、香港では日系スーパーが多数あり、ローカル系スーパーでも日本食材を取り扱う店もある他、日本産農産物専門のECサイトも充実しており、農産品から加工食品まで様々な日本産食品の入手が可能です。

日本食材は、日本からの輸送費が発生する分高価格ではあるものの、「安心・安全」「美味しい」というイメージが根付いており、香港に居住する日本人だけでなく、香港市民にも人気が高く、日系スーパーも地元客を広く集めています。

【図表1】香港スーパーマーケット売上高増減率推移



出所：香港政府統計処発表より香港駐在員事務所にて作成
※増減率は前年同月比

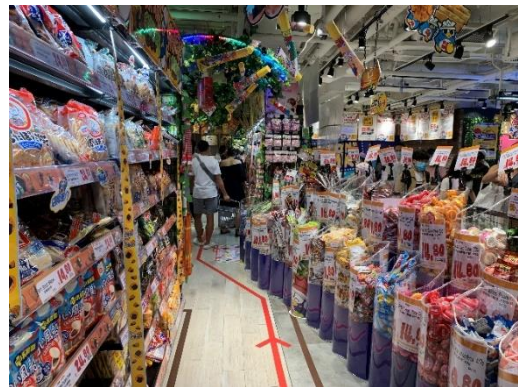
【図表2】日本食材が購入できるスーパー

名称	店舗数	特徴等
AEON	12	イオン系列
一田Yata	12	西友の後継
City super	4	創業者が日本人
Don Don Donki	3	ドン・キホーテ系列
APITA (UNY)	2	ユニー系列
SOGO	1	デパートSOGOの地下
Oisix香港	-	日本産食品専門EC

出所：各社HPより香港駐在員事務所にて作成

2. Don Don Donki (ドンドンドンキ)

2019年7月に、日本のディスカウントストア「ドン・キホーテ」の香港1号店が開店し、当地の注目を集めました。また、2020年7月には3号店が銅鑼湾に開店するなど、多店舗展開も進めています。食料品から日用品まで、日本製品の品揃えが非常に豊富で、棚の上から下まで商品が敷き詰められている店内のディスプレイは、正に日本のドン・キホーテを彷彿させます。他のスーパーに比べて価格は安く¹、私が訪れた際にも、店内には人が多く大変盛況でした。コロナ禍で日本旅行へ行くことができない香港市民にとっても、安く買い物ができるだけでなく、日本を感じることができる場所となりそうです。



＜銅鑼湾店内：日本の菓子が陳列されている様子＞

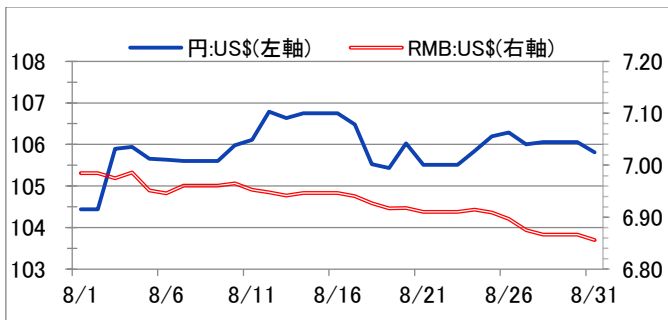
(足利銀行香港駐在員事務所 駐在員 鈴木庸之)

¹ 香港の日系スーパーでは、納豆1パック(3個入)の相場は16.8HKD(約236円)程度であるが、ドンドンドンキでは11.8HKD(166円)で販売されているなど、低価格である。(8/10訪問時点)。

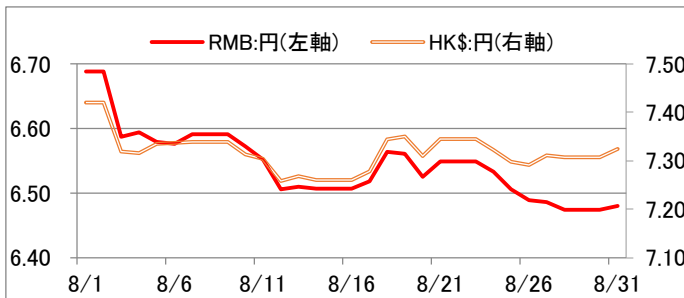
株式市場・為替情報

1. 為替市場

	月初	高値	安値	月末		月初	高値	安値	月末
円/米ドル	104.44	106.79	104.44	105.81	人民元/100円	6.6880	6.6880	6.4740	6.4800
人民元/米ドル	6.9848	6.9861	6.8563	6.8563	香港ドル/100円	7.4200	7.4200	7.2580	7.3240
香港ドル/米ドル	7.7499	7.7503	7.7497	7.7499	台湾ドル/円	0.2823	0.2823	0.2755	0.2776

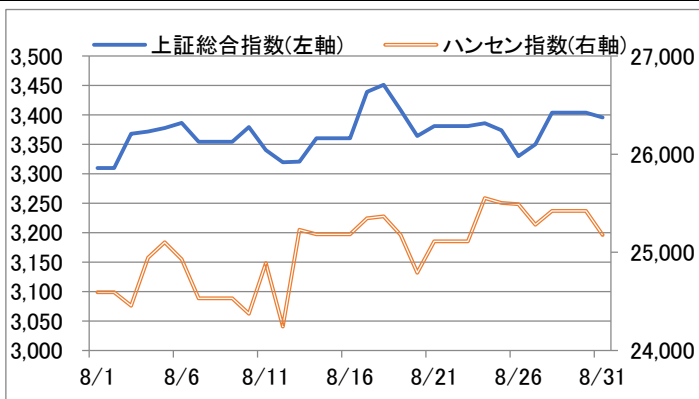


出所：中国外貨管理局（人民元）および時事通信参考値（人民元以外）



2. 株式市場

	月初	高値	安値	月末
上海総合指数	3,310.01	3,451.09	3,310.01	3,395.68
香港ハンセン指数	24,595.35	25,551.58	24,244.02	25,177.05
台湾加権指数	12,664.80	12,956.11	12,362.64	12,591.45



出所：各証券取引所

【為替市場（8月）レビュー】

- ・人民元/米ドル相場は、前月から続く米ドル安の流れを受け 6.98 台で開始。その後も、米国の第2四半期 GDP が景気回復の遅れを想起させたことで、米ドル安圧力が高まり、月末には約半ぶりとなる 6.85 台まで上昇した。

【為替市場（9月）見通し】

- ・中国の景気回復が鮮明になりつつあるなか、月末に一時 6.85 元を突破したことで人民元の先高観が強まっており、当面は緩やかな人民元高トレンドの継続が見込まれる。

【証券市場（8月）レビュー】

- ・上海総合は月初から高値圏でもみ合い。一時、米中関係の緊張高まりを受け、下落する場面が見られたものの、18日には約2年7か月ぶりの高値となる3,451まで買われた。一方、ハンセン指数は月初の大荒れから月末にかけては緩やかな上昇トレンドに転じた。

【証券市場（9月）見通し】

- ・中国の各経済指標からは着実な景気回復が明らかであり、上昇継続が見込まれるものの、米中関係に対する警戒感は根強く、上値の重い展開を予想する。

めぶき FG アジアネットワークのご紹介

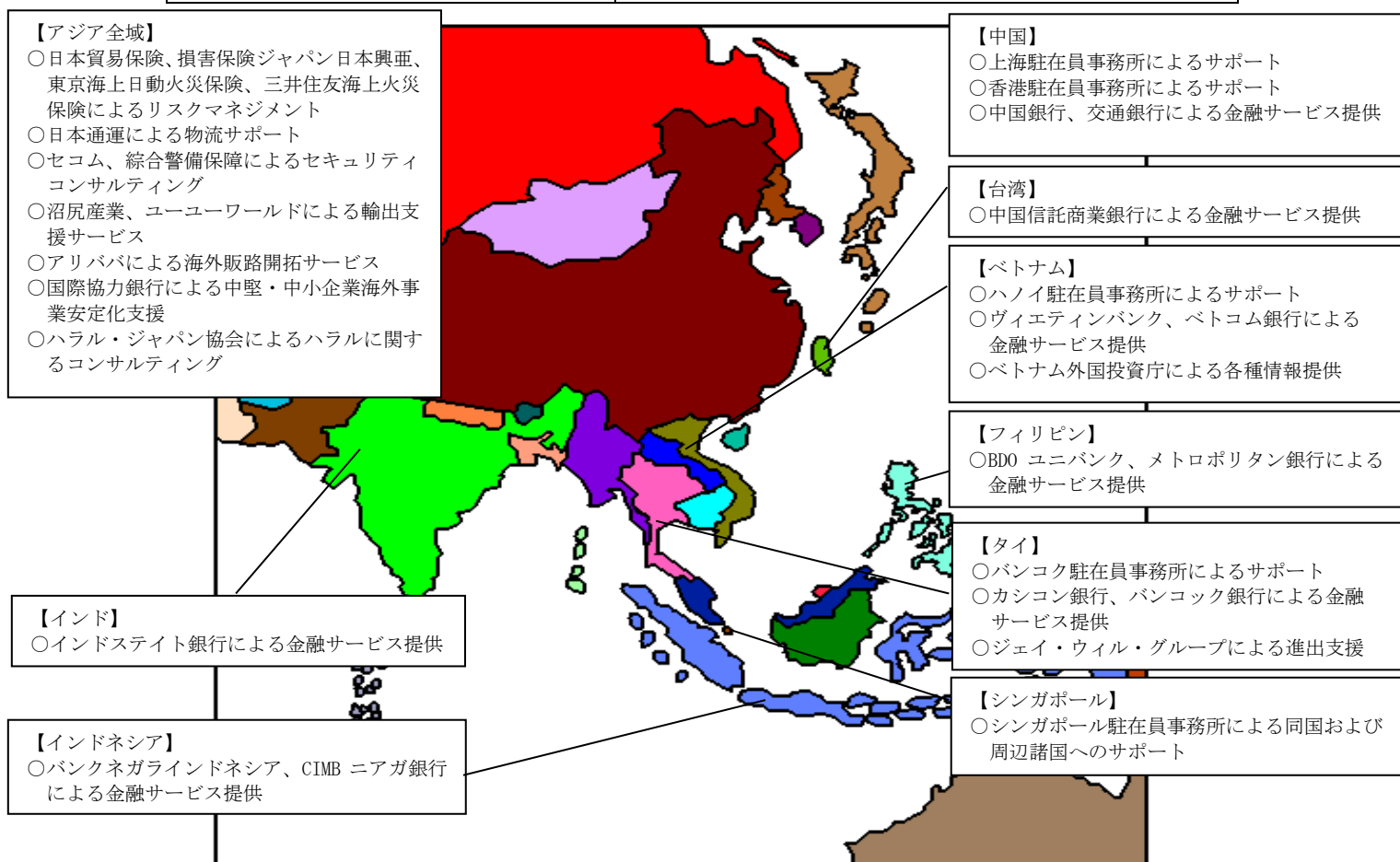
お客様の海外進出をサポートするため、様々な機関や外国銀行と業務提携を結び、支援体制の強化を進めています。

◎業務提携先一覧

提携先	常陽	足利	主な業務内容
中国銀行（中国）	●	●	中国国内情報の提供および各種金融サービスの提供
交通銀行（中国）	●		
中国信託商業銀行（台湾）	●		台湾情報の提供および各種金融サービスの提供
カシコン銀行（タイ）	●	●	タイ国内情報の提供および各種金融サービスの提供
バンコック銀行（タイ）	●		
バンクネガラインドネシア （インドネシア）	●		インドネシア国内情報の提供および各種金融サービスの提供
CIMB ニアガ銀行 （インドネシア）		●	
ヴィエティンバンク （ベトナム）	●		ベトナム国内情報の提供および各種金融サービスの提供
ベトコム銀行（ベトナム）	●	●	
ベトナム外国投資庁 （ベトナム）	●		ベトナム関連セミナーの開催協力 ベトナム進出に関する各種支援、投資関連情報の提供
BDO ユニバンク（フィリピン）	●		フィリピン国内情報の提供および各種金融サービスの提供
メトロポリタン銀行 （フィリピン）		●	
インドステイト銀行 （インド）	●	●	インド国内情報の提供および各種金融サービスの提供
バナメックス（メキシコ）	●	●	メキシコ国内情報の提供および各種金融サービスの提供
アグアスカリエンテス州政府 ほか（メキシコ）	●	●	メキシコに関する現地市場調査 投資情報の提供
日本貿易振興機構（JETRO）	●	●	海外事業展開や各国制度等に関する各種情報提供
国際協力機構（JICA）	●	●	途上国での海外事業展開や各国制度等に関する各種情報提供
国際協力銀行（JBIC）	●		海外展開支援融資の提供
日本貿易保険（NEXI）	●	●	輸出取引を行う際の海外取引リスクに備える各種貿易保険の提供
中小企業基盤整備機構		●	海外事業展開や各国制度等に関する各種情報提供
東京海上日動火災保険	●	●	海外リスク情報等の提供
損保ジャパン日本興亜	●	●	リスクマネジメントコンサルティングサービスの提供
三井住友海上火災保険	●	●	各種損害保険の提供
セコム	●		海外での安全システム・防犯危機商品の提供
総合警備保障	●		海外セキュリティサービスの提供

◎めぶき F G 海外駐在員事務所

常陽銀行シンガポール駐在員事務所	63 Market Street, #11-03 Bank of Singapore Centre Singapore 048942 TEL:+65-6225-6543
常陽銀行ハノイ駐在員事務所	5th Floor, Sun Red River, 23 Phan Chu Trinh Street, Hoan Kiem District, Hanoi, Vietnam TEL:+84-24-3218-1668
常陽銀行上海駐在員事務所	上海市延安西路 2201 号 上海国際貿易中心 1901 室 TEL:+86-21-6209-0258
常陽銀行ニューヨーク駐在員事務所	712 Fifth Avenue, 8th Floor, New York, NY 10019 TEL:+1-347-686-8420
足利銀行香港駐在員事務所	Suite 1601, 16th Floor, Tower 2, The Gateway, Harbour City, Kowloon, Hong Kong TEL:+852-2251-9475
足利銀行バンコク駐在員事務所	689, Bhiraj Tower at Emquartier, 27th Floor, Room No. 2714, Sukhumvit Road, Klongton-nue, Wattana, Bangkok, Thailand 10110 TEL:+66-2-261-2852



めぶき FG イベント情報

【FBC 広東 2020 ものづくり商談会 in 南海】<募集終了>

日 程	2020年9月23日(水)～24日(木) ※日程変更あり(変更前:8/18～8/19)
開催国	中国(広東省仏山市)
会 場	南海樵山文化中心 ※会場変更あり(変更前:インタコンチネンタル仏山)
概 要	本商談会は、中国での販路拡大や部材調達を希望する日系ものづくり企業等を対象とする商談会で、約200社の出展企業が2日間にわたり自社製品等をPRし、約2千名のバイヤー来場を予定しています。
費 用	無料/1コマ(当行経由の場合) ただし、保証金1,500人民元/1コマ(展示会終了後に返金)
照会先	常陽銀行 上海駐在員事務所 TEL +86-21-6209-0258 常陽銀行 市場国際部 国際業務室 各担当者 TEL 029-300-2728～2730

【FBC 上海 2020 ものづくり商談会】<募集中> ※出展申込期限9月21日(月)

日 程	2020年11月3日(火)～6日(金)
開催国	中国(上海市)
会 場	上海新国際博覧中心
概 要	本商談会は、中国での販路拡大や部材調達を希望する日系ものづくり企業等を対象とする中国最大級の商談会で、約300社の出展企業が4日間にわたり自社製品等をPRし、約2万5千名のバイヤー来場を予定しています。 出展対象は、自動化・ロボット、自動車関連、電子電機、環境・省エネ、機械設備など製造業全般となっています。
費 用	8,500人民元/1コマ(当行経由の割引価格)
照会先	常陽銀行 上海駐在員事務所 TEL +86-21-6209-0258 常陽銀行 市場国際部 国際業務室 各担当者 TEL 029-300-2728～2730